

Blossom -lite-

no.16



1, 十全の守護を学ぼう

2, ちょこっとぎやらりい。

asahijoshiseinen

親神様の十全の守護を学ぼう

たいしょく天のみこと

出産の時、親と子の胎縁を切り、出直しの時、息を引きとる世話

世界では切ること一切の守護の理

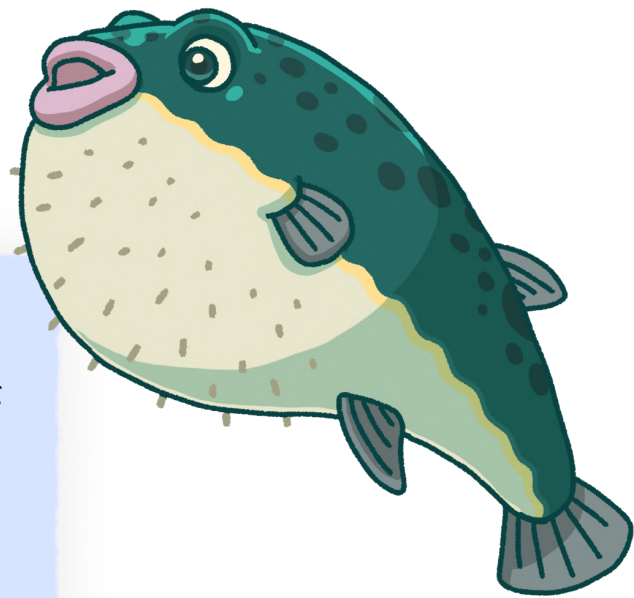
〈誕生と出直しの時の「切る」守護〉

赤ちゃんは、母親の胎内にいる時は、へその緒を通して母親から酸素や栄養をもらっていますが、出産の時に母親との胎縁が切れると、自分で呼吸を始めます。そして、やがて生を終える時が来ると、息を引きとって頂き、親神様に身体をお返しします。

〈切ること一切の守護〉

「切る」という言葉にはあまり良い印象がないかもしれませんが、良くない習慣や腐れ縁を断ち切る時、何か新しいことを始める時には、それまでの心や行動を思い切って切り替えることが大切です。

ただし、「切る」ということはやたらとあってはなりません。ここぞという時の働きであり、心遣いです。



争いや病気の根本の原因は、長い間に積もった心のほこりや悪いいんねんです。親神様のお働きを頂いて、根を切って頂けます。

また、生き方を切り換えようとする時にこそ、

「切る」という心の働き、ご守護が大切です。

思い切って今までの自分の心を切り換えること、そして親神様にお喜び頂けるような心定めと実行が、良い結果へとお導き頂けます。

たいしょく天のみことの「切る」お働きは、

ふぐの姿で教えられています。ふぐは体内に毒を持っていて、食べると中毒することがあるためです。

をふとのべのみこと

出産の時、親の胎内から子を引き出す世話
世界では引き出し一切の守護の理

〈出産の時、親の胎内から子を引き出す世話〉

母親の胎内で胎児が十分に成長し、出産の時を迎えると、母体と胎児の同調した絶妙な働きによって、胎児はこの世にお引き出し頂き、生まれ出てきます。

赤ちゃんがだんだんと大人へと成長していくのも、「引き出し」のご守護のおかげです。

〈引き出し一切の守護〉

「引き出し」とは成熟へ向けてのプロセス、生育や成長の働きです。

農作物は、種を蒔けば、やがて芽が出て花が咲き実がなります。実は動物の食糧になり、種子は次の新たな命の元になります。

また、人の成長、育成、物事の伸長、発展も「引き出し」のご守護です。その人に応じて、良いところを引き出し、納得できるように分かりやすく導いていくことで、人は育っていきます。



人の成長とは、身も心も育つことです。
様々な経験を通して精神的に成長していくことも、
教育などによって、個性が育ち、能力が伸びていく
ことも、引き出しのご守護が及んでいます。
親神様は、互いにたすけ合う姿をお望み下さいます。
ですから、人をたすける心と行いを心がけていると、
陽気ぐらしのできる人へと成人させて頂けます。
をふとのべのみことの「引き出し」のお働きは、
くろぐつな（黒蛇）の姿で教えられています。
くろぐつなは勢いが強く、引っ張っても
簡単には切れません。

ちょこっとぎやらりい。



カメラマン:sekisanphoto

みなさん、こんにちは🌻ちょこっとぎやらりい。のお時間です！

おぢばでは、8月末まで夏休みこどもおぢばひのきしんが
開催されていました。

こどもたちの楽しそうな声が

あちこちから聞こえていました✨

やっぱりおぢばの夏はこどもたちの
笑顔や楽しそうな声が
一番似合う気がします^^

もう少しで夏が終わりますね。

またまた季節の変わり目ですが、
ご自愛くださいませ！

それではまたお会いしましょう♪

